



新年を迎えて

理事長

伊藤 祐一郎

あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

当協会におきましては、昨年は、成長するアジア市場で県産品の輸出促進を図ることを目的に、七月に中国での活動拠点となる上海事務所を開設し、また、国内では、九州新幹線全線開業を見据えた特産品振興のための各種事業に取り組んだ一年でありました。皆様方から絶大なる御支援・御協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、今年はいよいよ、九州新幹線全線開業や全国都市緑

化がしまフェアの開催など、本県にとって大きなチャンス的一年になります。九州新幹線全線開業で、新幹線のレールによって、日本列島は青森から鹿児島が結ばれ、商圏の拡大や交流人口の増加など、地域間の人・モノ・情報の交流がさらに活性化し、産業振興や地域活性化に大きな効果が期待されます。開業効果を最大限に活かす、本県の魅力を県内外にアピールしていくべきであるとして、新年を迎え、改めて思いを強くしているところです。このような中、本県特産品の国内、さらには海外での市場を拡大する

ためには、鹿児島県の「生活文化」を広く伝えながら、消費者志向を的確にとらえた、地域に根付いた魅力あふれる特産品づくりや販路拡大に、これまで以上に取り組む必要があると考えております。

会員の皆様と力を合わせ、知恵を出し合いながら、「本物。鹿児島県」を旗印に本県特産品の振興に積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので、より一層の御支援・御協力をお願い申し上げますとともに、本年が、素晴らしい年となりますことを心から祈念いたします。

九州新幹線全線開業100日前

「これぞKAGOSHIMA！自慢の逸品大発表会」

いよいよ待望の九州新幹線全線開業まで2ヶ月となりました。当協会では、開業に向けて、“モノづくり達人(製造者)”、“モノ使い達人(消費者)”、“モノ売り達人(流通関係者)”の連携等により、平成20年度から開業までの3年間に、一会員が、地域資源を活かした(逸)商品を開発・改良する「3いち(逸)運動推進事業」を展開しています。この事業で取り組んだ成果品や、2010かごしまの新特産品コンクールおよび県内7つの地域特産品コンクールの入賞商品を一堂に展示して広く県内外に情報発信するとともに、販路拡大を図るため、「これぞKAGOSHIMA！自慢の逸品大発表会」を開業100日前にあたる平成22年12月2日(木)にホテルウェルビューかごしまにて開催し、163社、217品目が出展しました。

当日は、県内消費者モニター100名、中国・上海を含む県内外の百貨店・量販店等のバイヤー、一般来場者等を合わせて、約350名が来場され、出展者と熱心に意見交換されていました。

来場された県外のバイヤーのご意見

・大都市圏で開かれる展示会では見れない地元ならではの出品商品が多く、内容が良かった。
・地域の素材を活かした商品を開発されていることを高く評価したい。
・量販店での販売にはJANコードや手に取りやすい価格設定が必要。
・商品の中身や味はいいので、パッケージにも少し工夫が欲しい。

消費者モニターアンケートから

「あつたらしいなと思う特産品や本県特産品について思うこと」

・ぼんかん、たんかん、びわ等の鹿児島ならではのスイーツ。
・カンパチ、きびなご等の鹿児島No.1駅弁。
・季節限定で土地の特産品を使ったものを増やして欲しい。限定品とついていると、今の季節にしか手に入らない！と多くの人が買いたいそう。(小みかんもジャムにすれば年中出せるけど、あえて生の実を使う冬限定バージョンのかるかんとかは?)
・県内で作られた紅茶やお茶と特産品のお菓子のセット、焼酎と特産品のおつまみのセット。
・桜島の灰を上手に観光PRに使用してほしい。灰の缶詰のような、他にはないもの。
・かるかん・かるかん粉は、小麦アレルギーの子供を持つ方へのお土産に大好評!

・例えば、鹿児島がくずの産地である、薩摩づけがとても良質であることを県民が知らない。小中学生の時にしつかり地元のことを教えて、皆が鹿児島のことをPRできる様にしてはどうか? 高校生に鹿児島のPRを考えさせる企画はおもしろいですね。がんばって!

・他県のお土産品は鹿児島のものに比べると、味・パッケージ、お店、総合的に「あか抜けた」感じがする。せっかく、おいしくて良い物がたくさんある鹿児島なのに、今ひとつPR等、足りない。

・新しい商品には、全部ネーミングを「さくら」とつけてあり、あまりにもひねりが無い。「さくら」ばかりでは、どれがどれだか、分からなくなる。

・黒牛、黒豚はすごくPRするのに、魚関係が少ない。きびなご、飛魚だけじゃなく、うなぎ、カンパチ、ブリなど、どんどんPRして欲しい。

「お土産を買うときに重視する点」

・量と値段。日持ちがするもの。
・パッケージ(見栄えのよいもの)。かさばらない、重くないもの。
・季節感のあるもの。
・ネーミング、インパクトが強いもの。
・その土地を象徴するもの、その土地の素材を活かしているもの。
・そこに行かないと購入できないもの(地域限定商品)。
・自分がもらってうれしいもの(食べたいもの)。

『私のいち押しベストテン』

当日会場にご来場いただいた消費者、モニターやバイヤーの方々に、出展した217品目の中から、お気に入りの商品を3点まで選んでいただきました。投票の結果、同票数もあり、11品目が『私のいち押しベストテン』として選ばれました。

(当協会ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。
<http://www.k-p-a.jp>)



『私のいち押しベストテン』表彰の様子

来場された方々は、新幹線全線開業に向けた各社の熱意に、鹿児島の特産品の可能性を感じておられたようです。早速、商談が進んでいる商品もありますし、よい素材を活かした魅力あふれる商品に磨き上げて、まずは地元の方に知ってもらう取組が必要な商品もあるようです。

当協会では、皆様と一緒にいろいろな機会をとらえ、今後さらに「鹿児島」を売り込んでいきます。